

平和の森公園再整備(第二工区)の変更(案)について

平和の森公園再整備(第二工区)について、変更(案)を取りまとめたので報告する。

1 草地広場等の利活用に関する関係団体等への意見聴取結果について

草地広場内に300メートルトラック及び100メートルコースの必要性、その他草地広場内の利活用について、関係団体等への意見聴取を行った。

(1) 300メートルトラック及び100メートルコースの整備等について

(2) 草地広場内の築山(すべり台)の利用等について

意見聴取結果は別紙1のとおり

2 再整備(第二工区)の考え方について

平成30年(2018年)10月に開催した「平和の森公園再整備を語る会」における意見、郵送等による意見募集の結果、議会における議論等を踏まえ、以下のとおりとする。

(1) 平和の森公園再整備は、新体育館と一体となったスポーツ・健康づくりの場としての機能を高め、「スポーツによる健康づくりを行える公園」、「既存の緑を継承し、四季を彩るみどり豊かな公園」、「区民の憩い、休息、交流の場となる、多様な広場にあふれた公園」、「防災の拠点となる公園」を基本コンセプトとし、「誰もが憩い楽しむことができる、中野の中心にふさわしい公園づくり」を目指す。

(2) 草地広場内に計画している、300メートルトラック及び100メートルコースは、本工事においては設置を取りやめ、「スポーツによる健康づくりを行える公園」のコンセプトを活かした園路の内側のゴムチップ舗装を代替施設として整備する。

現計画における300メートルトラック及び100メートルコースは、公認競技場としての利用は想定しておらず、小中学校の部活動等における練習等への活用を主な目的としていた。

陸上競技等の練習場所となる代替え施設の整備については、今後の中野区基本計画の策定等において検討していく。

- (3) 草地広場の築山を活かしたすべり台は、本工事においては設置せず、既存の築山を存置する。
- (4) バーベキューサイト設置予定場所に、災害時の炊き出しに対応するためのスペースを設置する。
 なお、このスペースの平常時のバーベキューサイトとしての活用については、平成32年(2020年)4月予定の全面開園時の運用開始を目指した煙の園路内への流入対策等の技術的検討を継続する。
- (5) 中高木の間伐は、防災樹林帯保全のための適正な数量や施工方法をさらに検証したうえで実施するため、本工事においては実施しない。また、既存の低木については、可能な限り存置した上で、みどりの総量が減少しないよう必要な補植を行う。なお、工事の支障となる樹木の伐採や既存樹木の必要な剪定等を行う。

3 変更(案)について

再整備(第二工区)の考え方に基づく変更(案)は別紙2のとおり

4 再整備(第二工区)の変更案に伴う、主な減額要因と増額要因及び概算金額

①減額要因

- ・300メートルトラック及び100メートルコースの設置の取りやめ
△約8,600万円
- ・草地広場の築山を活かしたすべり台の設置の取りやめ
△約500万円
- ・中高木の間伐の取りやめ
△約500万円
- ・草地広場内の照明灯の設置の取りやめ
△約400万円
- ・草地広場の既存パーゴラの撤去の取りやめ
△約100万円

②増額要因

- ・園路の内側のゴムチップ舗装の設置
約2,300万円
- ・植生環境の改善(整姿剪定)
約1,400万円
- ・下水道処理施設トップライト(天窗)の閉塞
約700万円
- ・工事一時中止経費、工期延伸に伴う仮設工の追加
約600万円

5 今後の予定

平成31年(2019年)第1回定例会 工事請負契約変更議案提出
 平成31年(2019年)10月 第二工区竣工予定

草地広場等の利活用に関する意見聴取結果について

1 300メートルトラック及び100メートルコースの整備等について

意見聴取対象者	対象数	回答数
中野区体育協会	36団体	20団体
新日本スポーツ連盟	8団体	3団体
少年スポーツ団体	2団体	1団体
中野区スポーツ推進委員	32名	13名
区立小学校	5校	2校
区立中学校	10校	9校

2 意見聴取結果について

意見聴取内容	活動に支障がない	活動に支障がある	どちらとも言えない
300メートルトラック及び100メートルコースを整備しない案について	26件	12件	8件

3 主な意見と区の見解・回答（同趣旨の意見は一括）

(1) 支障がない

NO.	中野区体育協会等及び区立小・中学校からの意見
1	区民の体力向上や憩いの場として自由に利用できるようにしてほしい。
2	新体育館や多目的運動場の利用後の憩いの場として価値がある。
3	高齢者や子供連れには現状を継承した方が望ましい。
4	トラック整備により、トラック内広場の利用が制限されるか不安。
5	家族、高齢者、子供が自由に使用できる広場として整備してほしい。
6	家族やグループがピクニック等を楽しめるよう、自然を壊さないように整備してほしい。
7	トラックやコースを整備すると特定のスポーツ団体に独占されるので、現在の広場の形が望ましい。
8	トラック、コースを整備することで、利用方法に規制が出てくる。
9	草地広場を残して多くの区民が自由に利用できるようにしてほしい。

10	区民の憩いの場として、現状のままだがよい。
11	木々を極力残し、広場の周囲をランニングできるよう整備。
12	樹木を伐採して作るのが300メートルという中途半端な距離のトラックでは意味がない。
13	親子や高齢者がのんびり過ごせる憩いの場が必要である。
14	トラックを整備すると一般利用者は排除されてしまう。
15	地域の人々が楽しむことができる広場、憩いの場が必要。
16	幅広い年齢層、障害者が利用している現状をみると、300メートルトラック等の設置による共存は危険で無理がある。
17	スポーツに縁のない人でも、憩いの場として気軽に訪れる場として機能していれば、やがて身体を動かすことの楽しさやスポーツ活動の有用性、仲間づくりなど考えられる。
18	既存の広場を継承するのであれば、競技の場、スポーツ活動の場とは成り得ない。健康づくり活動の場としての活用が望ましい。
19	連合陸上大会のような本格的な大会を開催するには、300メートルトラックや100メートルコースだけでは無理なので、簡単なスポーツができる程度のスポーツ公園がよい。
区の見解・回答	
<p>草地広場は、多様な使い方ができる広場を目指しており、誰もが利用できる憩いの場として活用していただきたい。また、植生環境については、緑の総量が減少しないよう努めていく。健康づくりについては、園路の内側のゴムチップ舗装コースや、公園周回延長約1キロあるウォーキング・ジョギングコースを活用していただきたい。</p>	

(2) 支障がある

NO.	中野区体育協会等からの意見
1	区内にグラウンドを整備する土地が少ないので、整備するいい機会である。
2	競技者の拡大、競技力向上のための講習会も場所が確保できず実施できない。
3	運動施設が少ないので、区民の健康づくり、若年層の将来を考えた場合、防水、クッション機能等を備えたトラック整備が必要である。
4	スポーツ施設数が少ない中野区においては施設規模の大小に関わらず歓迎である。
5	中高生が授業やクラブ活動で陸上種目の公式レースができる施設が無

	いと、スポーツ振興が進まない。
6	学校の競技会や区民大会ができる場所が必要である。
区の見解・回答	
陸上競技等の練習場所となる運動施設の整備については、今後の中野区基本計画の策定等において検討していく。	

NO.	区立小・中学校からの意見
7	陸上等の競技力の向上、イベント開催等ができず飛躍的な発展ができない。
8	300メートルトラック等を整備しない場合、体育的な活動が制約され、小学校陸上大会のような行事を構築することも不可能となる。
9	陸上競技において、本格的な練習の場として活用できる。現状では区内の公園で本格的なトラックが整備されているところはないので、整備が必要である。
区の見解・回答	
小中学校の部活動等の練習場所となる運動施設の整備については、今後の中野区基本計画の策定等において、検討していく。	

(3) どちらとも言えない

NO.	区立小・中学校からの意見
1	作るなら400メートルのトラックを希望する。300メートルでは中途半端。陸上大会の練習にならない。
区の見解・回答	
公園の面積や利用等を勘案すると、400メートルトラックを整備することは困難である。	

4 草地広場内の築山（すべり台）の利用等について

意見聴取対象者	対象数	回答数
区内の区立保育園、幼稚園	16園	8園
公園近隣の保育園、幼稚園	17園	15園

5 意見聴取内容

既存築山を活用したコンクリート製のすべり台を設置せずに既存築山を存置する案について

6 主な意見と区の見解・回答（同趣旨の意見は一括）

NO.	保育園・幼稚園からの意見
1	コンクリート製の滑り台は他の公園でも経験できるので不要。
2	コンクリート製だと、乳幼児がバランスを崩した際等のケガが気になるので、やめてほしい。
3	自然のままの築山を残してほしい。
4	乳児クラスもヨチヨチと既存の築山を上り下りして楽しいあんよの経験ができる絶好の場所である。
5	既存の築山は、1、2歳児にとって重要な足腰を使う遊びができる貴重な場所である。
区の見解・回答	
コンクリート製でも安全に問題はないと考えているが、既存の築山を存置することが、当公園に相応しい再整備であると考えている。	



凡例	数量	
●	既存樹	—
○	新植樹	—
●	移植樹	41本
●	園内灯(LEDボールライト H約4.0m)	75基
■	太陽灯(蓄電式 H約3.0m)	17基
●	庭園灯(LEDアプローチライト H約0.6m)	60基
●	多目的広場照明(投光器 H8.0, 10.0m)	6基
●	アッパーライト照明(LEDスポットライト)	8基
■	トリム遊具(健康遊具)	8基
■	アスレチック遊具	3基
■	築山	1基
■	幼児遊具	1基
●	災害用トイレ(増設)	144(32)穴
○	ベンチ, 円形ベンチ	24基
○	緑台	6基
○	あずまや	4ヶ所
○	野外卓	3基
○	水飲み, 洗い場, 足洗い	12ヶ所
○	散水栓	21基
○	時計(H約4.5m)	5ヶ所
○	じゃぶじゃぶ池	—
○	カスケード	—
○	ドッグラン	2面
■	人工芝舗装	—
■	ゴムチップ舗装	—
■	クレイ舗装	—
■	透水性アスファルト舗装	—
■	半たわみ舗装	—
■	透水性インターロッキングブロック舗装	—
■	レンガタイル舗装	—
■	カラーコンクリート舗装	—
■	石貼り舗装	—
■	緑化駐車場	—
■	木チップ舗装	—
■	屋外駐輪場	100台
■	パーゴラ	2ヶ所
■	災害時炊き出しスペース	5区画

